

平成12年3月期 決算短信(連結)

平成12年5月8日

上場会社名 株式会社 コメリ 上場取引所 東京証券取引所(市場第1部)
 コード番号 8218 本社所在都道府県 新潟県
 問合せ先 責任者役職名 経 理 部 長 T E L (025)371-4111 (代)
 氏 名 坂 本 茂 毅

決算取締役会開催日 平成12年5月8日

1. 12年3月期の連結業績(平成11年4月1日~平成12年3月31日)

(1) 連結経営成績 (百万円未満切捨表示)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
12年3月期	113,331 (16.5)	7,215 (17.8)	6,706 (20.9)
11年3月期	97,322 (13.8)	6,123 (24.2)	5,548 (26.1)

	当 期 純 利 益	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期 純 利 益	株 主 資 本 当期純利益率	総 資 本 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
12年3月期	3,328 (35.9)	75 96	- -	10.8	8.1	5.9
11年3月期	2,449 (11.6)	59 08	- -	10.7	7.6	5.7

(注) 持分法投資損益 12年3月期 7百万円 (11年3月期 39百万円)
 有価証券の評価損益 86百万円 デリバティブ取引の評価損益 2百万円
 会計処理の方法の変更 有
 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2) 連結財政状態 (百万円未満切捨表示)

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
12年3月期	88,405	37,834	42.8	841 49
11年3月期	77,681	23,745	30.6	572 71

(3) 連結キャッシュ・フローの状況 (百万円未満切捨表示)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
12年3月期	4,116	7,356	4,249	4,805
11年3月期	-	-	-	-

(4) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 5社 持分法適用非連結子会社数 1社 持分法適用関連会社数 ——

(5) 連結範囲及び持分法適用の異動状況

連結(新規) なし (除外) なし 持分法(新規) なし (除外) なし

2. 13年3月期の連結業績予想(平成12年4月1日~平成13年3月31日)

(百万円未満切捨表示)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	63,500	4,780	2,500
通 期	130,000	7,650	3,900

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 86円 74銭

・企業集団等の状況

当社の企業集団は、当社および子会社7社で構成され、その事業は、生活関連用品全般を扱うホームセンター店舗と、工具・金物（ハードウェア）と園芸（グリーンセンター）を組み合わせたハードアンドグリーン店舗の多店舗展開を軸とし、当事業に関連する商品の調達、物流、その他のサービス等をグループ一体となり展開しております。

当社グループの各社の主な業務は次の通りであります。

(株)コメリ ホームセンター店舗を経営しております。

(株)ライフコメリ 当社への燃料納入および当社設備のメンテナンス業務と、ガソリン、LPガス、および関連機器の販売を行っております。

(株)ムービータン 当社不動産の一部を賃借し、ビデオソフト等のレンタルおよび書籍の販売を行っております。

(株)アテナ 当社不動産の一部を賃借し、インテリア用品、室内装飾品等の販売を行っております。

北星産業(株) 当社が販売する商品の店舗仕分け、および各店舗への配送業務を行っております。また当社取引先より、当社店舗への配送業務を請け負っております。

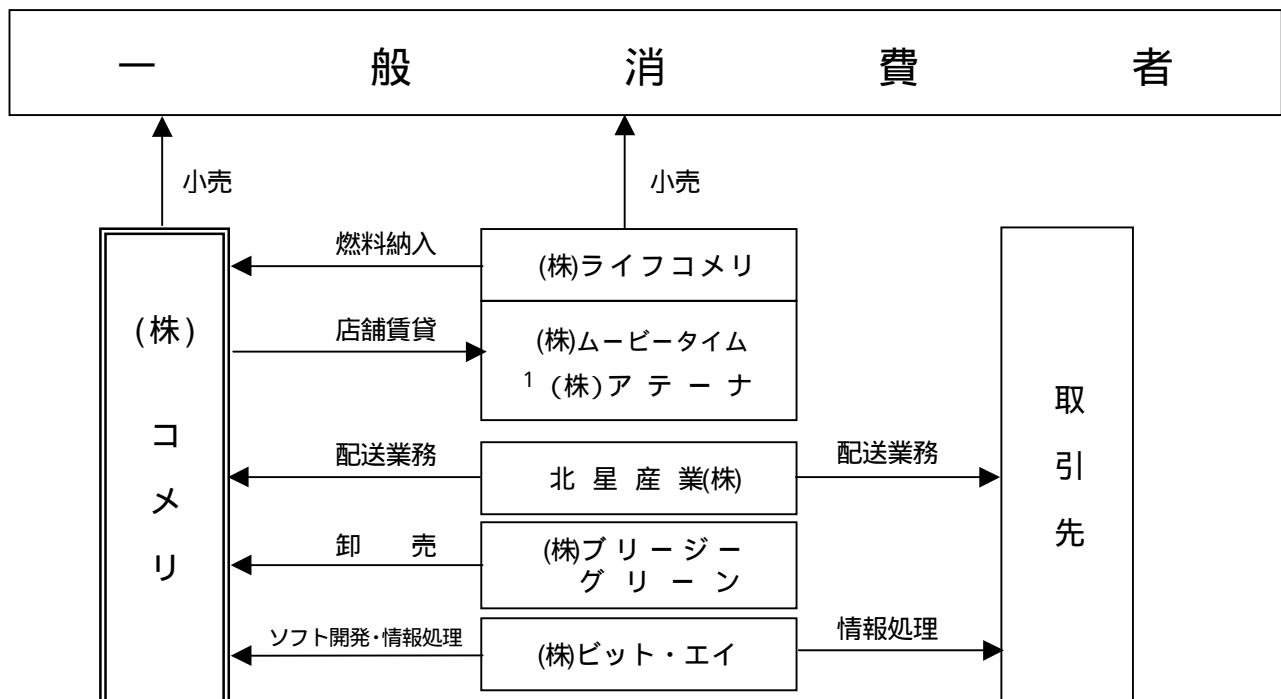
(株)ブリージグリーン 当社へ花卉・植物・園芸資材等を納入しております。

(株)ビット・エイ 当社およびグループ各社の業務上必要な各種情報処理およびそれに必要なコンピュータソフトウェアの開発や、取引先の情報処理等を行っております。

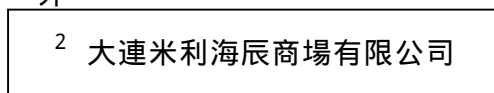
大連米利海辰商場有限公司 中国においてホームセンター店舗を経営しております。

事業の系統図は次の通りであります。

国内



海外



(注)

- 無印 連結子会社
- 1 非連結子会社で持分法適用会社
- 2 非連結子会社で持分法非適用会社

． 経 営 方 針

1． 経営の基本方針

当社および当社グループはホームセンター業界への参入以来、良質な製品をできるだけ安価に提供することを目的に、事業活動を進めてまいりました。

特に家内工業品や園芸産品などには、旧態依然とした流通形態が少なからず残っており、当社は、この分野の近代化の仕組み作りに真正面から取り組んでまいりました。

これにより、人々の日常の生活の向上を願い、本当の豊さと潤いのある生活のお手伝いをさせていただくことを使命と考え、ハードウェアとグリーンの分野に特化した当社の独自業態であるハードアンドグリーンを確立し、多店舗展開をすすめております。今後はこのハードアンドグリーンを主体に、大型ホームセンターとの組み合わせによる店舗展開を行い、グループ企業が一体となり、物流や情報システムを構築し、この分野での「オンリーワン企業」を目指してまいります。

2． 利益配分に関する基本方針

当社は、経営基盤や財務体質の強化をはかりつつ、安定的な配当の継続的实施を目指しており、利益水準や配当性向を考慮した利益配分を実施してまいります。 内部留保資金につきましては、新店投資資金や、既存店舗をより活性化するための増床、改装に効率的にあて、売上高の拡大、株主資本利益率の一層の向上をはかってまいります。

3． 中期的な経営戦略

当社および当社グループは、上記経営の基本方針に基づき、専門店のハードアンドグリーンを一定商圏内に多店舗展開し、さらにその中心に大型のホームセンターを旗艦店として出店することでドミナント化を推進し、当面の目標である全国1000店舗の実現を目指しております。

また、物流、情報のインフラを活用したインターネットビジネスにより、地域を越えてお客様のご要望にお応えし、加えて海外も含めた商品開発の推進、そして、少子高齢化による住宅需要の変化に対応するリフォーム産業への参入など、次世代に誇れる社会貢献企業を目指し、実現に向け努力してまいります。

4． 目標とする経営指標

社内においては投下資本の運用効率を重視し、総資本対経常利益率10%を目標に掲げ、資本の生産性を高め、株主資本利益率の向上に努力してまいります。

． 経 営 成 績

1． 当期の概況

当期のわが国経済は、政府の各種経済政策の効果もあり、経済指標の一部に改善が見られるものの、完全失業率はなお高水準で推移し、収入が低迷していること等から個人消費には改善傾向の定着が見られず全体としては依然として厳しい状況が続いております。

当ホームセンター業界におきましても、商品価格の下落や低価格帯商品への移行が続き、さらには同業のみならず他業種との競合も益々激しくなるなど、昨年同様厳しい経営環境が継続いたしました。

このような環境の中、当社は、他社にはない徹底した低価格を毎日提供する「一押し商品」の拡充、また月替わりの超お買い得商品「今月のベスト」の投入、さらには、灯油販売店舗を44店から129店へ拡大、また2000年問題も販売促進のチャンスと捉え、周到な準備を行う事により12月の売上を大きく伸ばすなど積極的な営業展開により、営業収入の拡大をはかりました。

加えて、お客様のお買上金額に応じて割引券を発行する「ポイントカード」会員の積極勧誘により加入者の大幅増加をはかり、サービス・利便性の向上と固定客化を推進してまいりました。また個店ごとの状況に合わせた品ぞろえの見直し・改装の実施等の売場活性化策にも努めました結果、既存店比較におきましても客数の増加により、前期を上回る売上を達成することができました。

当期の出店につきましては、ハードアンドグリーン業態では、東北地区が岩手県に1店舗、宮城県に2店舗、福島県に1店舗の計4店舗を、信越地区では新潟県に1店舗、関東地区では新たに進出した山梨県に1店舗、千葉県に4店舗、栃木県、茨城県、群馬県、埼玉県、および神奈川県に各2店舗の計15店舗を、北陸地区は福井県に1店舗、東海地区は、三重県に4店舗、岐阜県に6店舗の計10店舗、近畿地区では京都府に2店舗を出店したほか、新たな進出となる兵庫県に5店舗の計7店舗を出店し、合計では38店舗の新設を行いました。

またホームセンター業態では、新潟県に3店舗、長野県、茨城県、富山県、福井県、三重県の各県に1店舗ずつの計8店舗を出店した結果、当期合計出店数は46店舗となりました。なお、ホームセンター1店舗を閉鎖しましたので、当期末の総店舗数は、ハードアンドグリーン352店舗、ホームセンター62店舗で、前期末に比べ45店舗増の414店舗となりました。

また、ハードアンドグリーン1店舗とホームセンター2店舗の増床を行っております。

この結果、当期の当社および当社グループの売上高は前期を16.5%上回り、1,133億31百万円となりました。また経常利益は20.9%増加の67億6百万円を、当期純利益は35.9%増加の33億28百万円を計上させていただき、増収増益となりました。

2. 次期の見通し

日本の経済、産業構造そのものが時代による変革を迫られている現在、当業界も例外ではなく、従来型のホームセンターの品ぞろえや販売方法・サービスでは、お客様の支持を得ることは非常に困難な状況になってきております。

こうしたなか、当社としましては、業界 1 の店舗数と 1 品目あたりの販売力をフルに活用し、従来より力を入れてまいりました園芸関連商品、金物・工具、各種資材・建材および農業資材などの仕入から販売に至る各工程を再度見直しすることによりコスト削減をすすめ、商品力、販売力をさらに強化し、他社との差別化をはかり、収益力の向上に努めてまいります。

具体的には、海外も含めた製品開発の推進、直接輸入の拡大、園芸植物の計画栽培の拡大、商品別の取引先の見直し、当社独自の流通センターとシステムの徹底活用等を進めてまいります。

また平成 12 年 4 月には、ホームセンター業界初のインターネットによる商品販売に着手し、プロユーザーの大口注文にも対応できるシステム「コメリ・ドットコム ホームセンター市場」を稼働させており、さらに、平成 12 年 3 月に第一号店を立ちあげたリフォーム事業が本格的に営業活動を開始いたしております。

そして、これらの政策を強化するため、三重県芸濃町におよそ 16,000㎡の、当社 5 番目となる流通センターを設置する予定であります。また、新規出店は、ホームセンターを 10 店舗、ハードアンドグリーン 60 店舗を予定しております。

これにより、次期の当社および当社グループの売上高は 1,300 億円、また、経常利益は 76 億 50 百万円を、当期純利益は 39 億円を見込んでおります。

・連結財務諸表

1. 連結貸借対照表

(千円未満切捨表示)

期 別 科 目	前連結会計年度末 平成11年3月31日現在		当連結会計年度末 平成12年3月31日現在		増 減 (印減)
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
(資 産 の 部)		%		%	
流 動 資 産	(29,079,139)	37.4	(35,527,771)	40.2	(6,448,631)
現金及び預金	3,794,996		4,805,083		1,010,086
受取手形及び売掛金	538,770		577,353		38,583
有 価 証 券	100,547		95,519		5,028
た な 卸 資 産	22,308,366		27,381,156		5,072,789
繰 延 税 金 資 産	-		385,553		385,553
そ の 他	2,344,018		2,289,892		54,126
貸 倒 引 当 金	7,560		6,788		772
固 定 資 産	(48,565,995)	62.5	(52,815,742)	59.7	(4,249,746)
有 形 固 定 資 産	(37,380,586)	48.1	(40,892,441)	46.3	(3,511,855)
建 物 及 び 構 築 物	27,507,122		29,858,526		2,351,404
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	475,788		859,151		383,362
土 地	8,202,306		8,431,743		229,436
建 設 仮 勘 定	537,921		933,735		395,814
そ の 他	657,446		809,283		151,837
無 形 固 定 資 産	(2,442,523)	3.1	(2,946,249)	3.3	(503,725)
借 地 権	2,298,767		2,478,147		179,380
そ の 他	143,756		468,101		324,344
投 資 其 他 の 資 産	(8,742,885)	11.3	(8,977,051)	10.1	(234,166)
投 資 有 価 証 券	565,762		569,037		3,274
差 入 保 証 金 ・ 敷 金	6,922,659		7,152,490		229,831
繰 延 税 金 資 産	-		448,843		448,843
そ の 他	1,254,463		806,779		447,683
貸 倒 引 当 金	-		100		100
繰 延 資 産	(36,309)	0.1	(61,713)	0.1	(25,403)
新 株 発 行 費	4,420		48,452		44,031
社 債 発 行 費	31,888		13,260		18,628
資 産 合 計	77,681,445	100.0	88,405,226	100.0	10,723,781

(千円未満切捨表示)

期 別 科 目	前連結会計年度末 平成11年3月31日現在		当連結会計年度末 平成12年3月31日現在		増 減 (印減)
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
(負 債 の 部)		%		%	
流 動 負 債	(34,276,397)	44.1	(31,253,378)	35.4	(3,023,018)
支払手形及び買掛金	14,330,919		16,522,167		2,191,247
短期借入金	13,837,238		8,574,648		5,262,590
未払金	1,574,785		1,844,744		269,959
未払法人税等	1,756,195		1,434,313		321,881
未払消費税等	100,026		366,682		266,655
賞与引当金	616,300		653,300		37,000
その他の	2,060,932		1,857,522		203,409
固 定 負 債	(19,659,570)	25.3	(19,317,220)	21.8	(342,349)
社 債	6,076,300		6,076,300		-
長期借入金	10,959,846		10,356,916		602,930
退職給与引当金	804,328		1,270,073		465,745
預り保証金	1,758,014		1,564,054		193,960
繰延税金負債	-		711		711
その他の	61,082		49,166		11,915
負 債 合 計	53,935,967	69.4	50,570,599	57.2	3,365,367
(少 数 株 主 持 分)					
少 数 株 主 持 分	-	-	-	-	-
(資 本 の 部)					
資 本 金	6,191,637		11,676,137		5,484,500
資 本 準 備 金	5,970,137		11,451,137		5,481,000
連 結 剰 余 金	11,584,104		14,708,077		3,123,973
	23,745,879	30.6	37,835,352	42.8	14,089,473
自 己 株 式	401		725		323
資 本 合 計	23,745,477	30.6	37,834,627	42.8	14,089,149
負債、少数株主持分及び資本合計	77,681,445	100.0	88,405,226	100.0	10,723,781

2. 連結損益計算書

(千円未満切捨表示)

期 別 科 目	前連結会計年度 〔 自 平成10年4月 1日 至 平成11年3月31日 〕		当連結会計年度 〔 自 平成11年4月 1日 至 平成12年3月31日 〕		増 減 (印減)	増減率
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	
		%		%		
(経 常 損 益 の 部)		%		%		%
営業損益の部						
売上高	97,322,203	100.0	113,331,869	100.0	16,009,666	16.5
売上原価	65,333,602	67.1	76,634,572	67.6	11,300,969	17.3
売上総利益	31,988,601	32.9	36,697,297	32.4	4,708,696	14.7
販売費及び一般管理費	25,865,131	26.6	29,481,633	26.0	3,616,501	14.0
営業利益	6,123,469	6.3	7,215,664	6.4	1,092,194	17.8
営業外損益の部						
営業外収益	(132,657)	0.1	(151,300)	0.1	(18,642)	14.1
受取利息及び配当金	21,468		39,114		17,645	
その他の営業外収益	111,188		112,186		997	
営業外費用	(708,067)	0.7	(660,061)	0.6	(48,006)	6.8
支払利息	621,276		577,713		43,562	
持分法による投資損失	39,239		7,781		31,458	
その他の営業外費用	47,552		74,566		27,014	
経常利益	5,548,059	5.7	6,706,903	5.9	1,158,843	20.9
(特 別 損 益 の 部)						
特別利益	33,604	0.0	74,521	0.1	40,917	121.8
特別損失	78,646	0.1	687,802	0.6	609,155	774.6
税金等調整前当期純利益	5,503,017	5.6	6,093,622	5.4	590,605	10.7
法人税、住民税及び事業税	3,037,616	3.1	2,990,530	2.6	47,086	
法人税等調整額	-		224,937	0.1	224,937	
少数株主利益	15,736	0.0	-		15,736	
当期純利益	2,449,664	2.5	3,328,029	2.9	878,365	35.9

3. 連結剰余金計算書

(千円未満切捨表示)

期 別 科 目	前連結会計年度 〔 自 平成10年4月 1日 至 平成11年3月31日 〕		当連結会計年度 〔 自 平成11年4月 1日 至 平成12年3月31日 〕	
	金 額		金 額	
連結剰余金期首残高			11,584,104	
その他の剰余金期首残高	9,201,449		-	
利益準備金期首残高	711,957		-	
過年度税効果調整額	-	9,913,406	608,749	12,192,854
連結剰余金減少高				
配 当 金	746,296		777,805	
役 員 賞 与	32,670	778,966	35,000	812,805
当 期 純 利 益		2,449,664		3,328,029
連結剰余金期末残高		11,584,104		14,708,077

4.連結キャッシュ・フロー計算書

(千円未満切捨表示)

項 目	当連結会計年度	
	〔 自 平成11年4月 1日 至 平成12年3月31日 〕	
	金 額	
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益		6,093,622
減価償却費		3,174,937
持分法による投資損失		7,781
投資有価証券評価損		10,449
賞与引当金増加額		37,000
退職給与引当金増加額		465,745
貸倒引当金減少額		672
受取利息及び配当金		39,114
支払利息		577,713
新株発行費償却額		28,647
社債発行費償却額		18,628
有形固定資産除却損		50,628
賃借契約解約損		316,500
売上債権の増加額		38,583
棚卸資産の増加額		5,072,789
仕入債務の増加額		2,191,247
その他の資産の減少額		45,483
その他の負債の増加額		132,131
役員賞与の支払額		35,000
小 計		7,964,354
利息及び配当金の受取額		39,135
利息の支払額		574,414
法人税等の支払額		3,312,411
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,116,662
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出		6,511,277
無形固定資産の取得による支出		329,868
差入保証金・敷金の支払額		546,331
有価証券の取得による支出		65,225
有価証券の売却による収入		48,751
その他の投資の回収額		47,683
投資活動によるキャッシュ・フロー		7,356,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金金の減少額		5,577,000
長期借入金による調達		2,540,000
長期借入金返済による支出		2,828,520
株式の発行による調達		10,892,820
配当金の支払額		777,609
財務活動によるキャッシュ・フロー		4,249,691
現金及び現金同等物の増加額		1,010,086
現金及び現金同等物の期首残高		3,794,996
現金及び現金同等物の期末残高		4,805,083

5. 連結財務諸表作成の基本となる事項

(1) 連結の範囲

連結子会社 5社 (株)ライフコメリ、北星産業(株)、(株)ブリーザーグリーン、
(株)ムービータイム、(株)ビット・エイ)

非連結子会社 2社

非連結子会社の総資産、売上高、当期純利益及び剰余金はいずれも小規模であり、連結財務諸表に重要な影響を及ぼしておりません。

(2) 持分法の適用

持分法適用の非連結子会社 1社 (株)アテナ)

(3) 連結子会社の事業年度

連結子会社の事業年度末日と連結決算日は一致しております。

(4) 会計処理基準に関する事項

有価証券の評価基準及び評価方法

取引所の相場のある有価証券 移動平均法による低価法(洗替え方式)によっております。

その他の有価証券 移動平均法による原価法によっております。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

商 品 主として売価還元法による原価法によっております。

貯 蔵 品 最終仕入原価法による原価法によっております。

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法に定める定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法を採用しております。

無形固定資産 法人税法に定める定額法

ただし、ソフトウェア(自社利用)については、社内における見込利用可能範囲(5年)に基づく定額法を採用しております。

長期前払費用 法人税法に定める定額法

繰延資産の処理方法

新株発行費 3年間に每期均等額を償却しております。

社債発行費 3年間に每期均等額を償却しております。

引当金の計上方法

貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、法人税法に定める法定繰入額のほか、債権の回収可能性を検討して計上しております。

賞与引当金 従業員賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額に基づき計上しております。

退職給与引当金 従業員に対する退職金の支払いに充てるため、退職金規程に基づき自己都合退職による期末要支給額の100%を計上しております。従来、退職給与引当金は自己都合期末要支給額の40%を計上しておりましたが、当期より自己都合期末要支給額の100%を計上する方法に変更しました。

この結果、前期と同一の基準を採用した場合と比較して、営業利益及び経常利益は、45,743千円、税金等調整前当期純利益は369,462千円それぞれ減少しております。

役員に対する退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づき期末要支給額を計上しております。

外貨建資産、負債の換算基準

外貨建取引等会計処理基準を適用しております。

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

消費税等の処理方法

税抜方式を採用しております。
また仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺して未払消費税等に計上しております。

- (5) 連結子会社の資産及び負債の評価に関する事項
連結子会社の資産及び負債の評価については、全面時価法を採用しております。
- (6) 連結調整勘定の償却に関する事項
連結調整勘定の償却については、発生年度に全額償却しております。
- (7) 利益処分項目の取扱い
連結剰余金計算書は、連結会計年度において確定した利益処分に基づいて作成しております。
- (8) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
連結キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金および随時引き出し可能な預金からなっております。
- (9) 追加情報
当期より税効果会計を適用しております。この変更に伴い、税効果会計を適用しない場合に比べ、資産が834,397千円増加し、負債が711千円増加し、当期純利益は224,937千円、連結剰余金期末残高は833,686千円多く計上されおります。

6. 連結貸借対照表関係

	<u>前連結会計年度</u>	<u>当連結会計年度</u>
(1) 有形固定資産の減価償却累計額	14,073,808千円	16,816,449千円
(2) 手形割引高及び裏書譲渡高 受取手形割引高	60,378千円	16,453千円
(3) 保証債務	1,217,917千円	1,027,814千円
(4) 自己株式の数	189株	220株

7. 連結損益計算書関係

	<u>前連結会計年度</u>	<u>当連結会計年度</u>
1. 特別利益の主な内訳		
固定資産売却益	15,100千円	- 千円
投資有価証券売却益	17,363千円	8,517千円
国庫補助金等受入	- 千円	65,332千円
2. 特別損失の主な内訳		
固定資産処分損	45,742千円	44,583千円
投資有価証券評価損	32,854千円	- 千円
過年度退職給与引当金繰入額	- 千円	323,718千円
賃借契約解約損	- 千円	316,500千円

8. 税効果会計関係

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生 の主な原因別内訳

	当連結会計年度
繰延税金資産（流動）	
棚卸資産未実現利益	97,431千円
未払事業税	121,713千円
未払経費税務加算	51,708千円
賞与引当金	85,734千円
その他	38,974千円
	<u>395,561千円</u>
繰延税金資産（固定）	
退職給与引当金	444,884千円
その他	31,559千円
	<u>476,443千円</u>
繰延税金負債（流動）	
輸入製品国内市場開拓準備金	10,008千円
	<u>10,008千円</u>
繰延税金負債（固定）	
固定資産圧縮積立金	24,435千円
その他	3,875千円
	<u>28,311千円</u>
繰延税金資産の純額	834,397千円
繰延税金負債の純額	711千円

(2) 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目の内訳

	当連結会計年度
法定実効税率	41.7%
（調整）	
交際費等永久に損金算入されない項目	0.6%
受取配当金等永久に益金算入されない項目	0.1%
住民税均等割	3.1%
その他	0.1%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>45.4%</u>

9. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

.セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当連結グループにおきましては、ホームセンター事業の売上高、営業利益および資産の金額は、全セグメントの売上高合計、営業利益合計および資産合計のいずれも90%超であるため、記載を省略しております。

2. 所在地別セグメント情報

在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

海外売上高がないため、該当事項はありません。

.商品別売上状況

(千円未満切捨表示)

期 別 商 品 別	前連結会計年度 【 自 平成10年4月 1日 至 平成11年3月31日 】		当連結会計年度 【 自 平成11年4月 1日 至 平成12年3月31日 】	
	売上高	構成比	売上高	構成比
		%		%
D I Y 用 品	33,563,151	34.5	38,476,497	33.9
家 庭 用 品	40,849,105	42.0	46,853,353	41.3
カー・レジャー用品	15,977,016	16.4	18,194,561	16.1
そ の 他	3,634,172	3.7	5,739,704	5.1
商品売上高計	94,023,445	96.6	109,264,115	96.4
不動産賃貸収入等	3,298,757	3.4	4,067,754	3.6
合 計	97,322,203	100.0	113,331,869	100.0

(注) 商品別の各構成内容は次のとおりであります。

D I Y 用 品	(道具・建築金物、資材・建具、ペイント・内装、園芸・農具、植物等)
家 庭 用 品	(日用品・家庭用品、電気・暖房、インテリア、衣料・履物等)
カー・レジャー用品	(カー用品、スポーツ・レジャー、文具・玩具、ペット等)
そ の 他	(灯油・燃料等)

・ 有価証券の時価等

(千円未満切捨表示)

期 別 種 類	当連結会計年度 (平成12年3月31日現在)		
	連結貸借 対照表 計上額	時 価	評価損益
流動資産に属するもの	千円	千円	千円
株 式	775	766	8
債 券	-	-	-
そ の 他	91,750	76,702	15,048
小 計	92,525	77,468	15,056
固定資産に属するもの			
株 式	494,851	596,337	101,486
債 券	-	-	-
そ の 他	-	-	-
小 計	494,851	596,337	101,486
合 計	587,376	673,806	86,429

(注) 1. 時価等の算定方法

上 場 有 価 証 券 —— 主に東京証券取引所の最終価格
店 頭 売 買 有 価 証 券 —— 日本証券業協会の公表売買価格
非上場証券投資信託の受益証券 —— 基準価格

2. 開示の対象から除いた有価証券の貸借対照表計上額

	当連結会計年度
流動資産 割引金融債	2,993千円
固定資産 非上場株式	74,186千円

(店頭売買株式を除く)

・ デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

1. 通貨関連

(千円未満切捨表示)

区 分	種 類	当連結会計年度 (平成12年3月31日現在)			
		契約額等	うち1年超	時 価	評価損益
市 場 取 引	為替予約取引 買建				
以 外 の 取 引	米ドル	257,843	-	255,213	2,629
合 計		257,843	-	255,213	2,629

(注) 1. 時価等の算定方法

先物の為替相場を使用しております。

2. 外貨建金銭債権債務等に先物為替予約が付されていることにより、決済時における円貨額が確定している外貨建金銭債権債務等で、連結貸借対照表において当該円貨額で表示されているものについては、開示の対象から除いております。

2. 金利関連

当社は、市場金利の変動リスクを回避する目的で、金利スワップ取引(金利フロアー取引を含む)を利用しております。金利スワップ取引におきましては契約金額及び評価損益が少額であり重要性に乏しいため、記載を省略しております。

・ 関連当事者との取引

子会社

会社名	住所	資本金	事業の内容	議決権等の 所有割合	関係内容	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
(株)アテナ	新潟県 白根市	千円 400,000	インテリア用品 室内装飾品 等の販売	20%	兼任4名	貸料の受取	千円 97,149	未収入金	千円 2,124
						債務保証	1,012,661		
						債務保証料の受取	2,369	未収入金	1,165
						輸入商品の代行	766		

取引金額には、消費税等は含まれておりません。